

グローバルモビリティサービス
第8回技術経営・イノベーション大賞 選考委員特別賞を受賞

Global Mobility Service 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員/CEO：中島 徳至以下「GMS」）は、GMSの「世界の貧困層を救うFinTechサービス」が、一般社団法人 科学技術と経済の会が主催する第8回技術経営・イノベーション大賞において選考委員特別賞を受賞いたしましたので、お知らせいたします。



技術経営・イノベーション大賞は、経済の発展、社会の変革、競争力の向上、福祉の向上、SDGsへの貢献等を実現する優れたイノベーション事例を表彰するものです。

世界で17億人にも上る金融サービスへアクセスできない人々へ活躍する機会を創出するGMSの取り組みは、貧困というグローバルな課題に向き合い、経済合理性の中で資金が循環するビジネスモデルを打ち立てSDGs実現に大きく貢献する事業として、その社会的意義が審査員から高く評価され、選考委員特別賞を受賞いたしました。

GMSは、日本発の金融包摂型FinTechのグローバルベンチャーとして、真面目に働く人が正しく評価される仕組みを創造すべく、「モビリティサービスの提供を通じ、多くの人を幸せにする。」を

理念に掲げ活動しております。SDGsの中でも最重要課題とされる「貧困」などの社会課題を解決する中に経済合理性を創出し、真の意味で「サステイナブル」なビジネスモデルを日本及びASEAN各国でより一層推進してまいります。GMSの取り組みの様子はこちらの映像をご覧ください (<https://youtu.be/1gm6Bq1oNJc>)。

これからのGMSの取り組みに、どうぞご期待ください。



※プレスリリースに掲載されている内容、資本関連、サービス、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>
 Global Mobility Service 株式会社 担当：大久保、深田
 電話：03-6264-3113
 FAX：03-6264-3322
 E-mail: press@global-mobility-service.com
 URL: <http://www.global-mobility-service.com/>

■Global Mobility Service 株式会社の概要

GMSは、独自開発の自動車の遠隔起動制御を可能にするIoTデバイス「MCCS^{*1}」とモビリティサービスプラットフォーム「MSPF^{*2}」を活用したFinTechサービスモデルを構築し、日本国内およびASEAN各国市場に提供しています。2019年3月には経団連へ入会し、Society5.0 for SDGsと親和性の高いビジネスモデルとして注目され、また、代表の中島は経済産業省の「SDGs経営/ESG投資研究会」の委員に選出され、「SDGs経営ガイド」の発行に寄与するなど、SDGs達成に向けたモデルケース事業として高く評価いただいております。

*1 Mobility-Cloud Connecting Systemの略称で、自動車の位置情報を特定すると共に、安全に自動車のエンジン遠隔起動制御を行い、センシングを可能にするシステムです。

*2 Mobility Service Platformの略称で、モビリティを対象とした管理・制御・データ分析などを行い、クラウド上でOpen APIを通じた外部システムとの連携を可能にするプラットフォームシステムです。

会社名	Global Mobility Service 株式会社
代表者	代表取締役 社長執行役員/CEO 中島 徳至
所在地	東京都港区芝大門1丁目12番16号 住友芝大門ビル2号館 4階
事業内容	モビリティサービスプラットフォームの提供 クラウド上に蓄積したビッグデータの二次活用サービス
設立日	2013年11月25日